

Japan Handball Association



社会人
 学生
 高専
 高体連
 中体連
 小学生
 県協会

全国大会
 ブロック大会
 都道府県大会
 地区大会

男子
 女子

試合番号 **E-男28**

年月日 **2017年8月6日(日)**
 大会名 **平成29年度 全国高等学校総合体育大会 ハンドボール選手権大会**

公式記録用紙

A		函館大学付属有斗高等学校						県立岩国工業高等学校						B	
福島県		福島市				福島市西部体育館						2回戦			
前半	A	B	最終結果		A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m70-コフス	A	B
7m得点/総数		A		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7m得点/総数			
1/2		1		2		3		1		2		3		3/3	
1943															

No.	函館大学付属有斗高等学校	G	W	2'	2'	D	DR	No.	県立岩国工業高等学校	G	W	2'	2'	D	DR
1	水澤 健太							1	藤重 遼也						
2 C	菊池 隼平	5		1	1			2	田村 駿佑			1			
3	小西 正純	1						3	藤川 翔大	5					
4	小本 健太							4	品川 勇希						
5	草野 竜星							5	山崎 将志	1	1				
6	長浜 光樹							6	村岡 拓磨	5	1				
7	渡部 文太							7	松本 大昌	2					
8	根本 拓未							8	牧野 溪一郎	5	1				
9	菊池 竜平	1						9	栗栖 純也	3					
10	鹿角 歩							10 C	尾川 昭	3					
11	伊藤 飛雄			1				11	梅森 大樹						
12	澤部 拓海							12	舛本 健一郎						
13	富原 蓮	3						13	白石 響	4	1				
14	荒木 胤生	4	1					14	梅岡 大祐						
役員A	澤田 俊祐							役員A	倉谷 康彦						
役員B	橋本 理央							役員B	田中 雄						
役員C	太田 悠矢							役員C	榎 知博						
役員D								役員D							

A	得回 俊祐	チーム役員A署名	倉谷 康彦	B
---	-------	----------	-------	---

レフェリー	荒井 啓貴	猪股 洋一	荒井 啓貴	猪股 洋一
TD	比留間 康	尾形 俊賢	比留間 康	尾形 俊賢
JHAオフィシャル				

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

試合 番号	28	男子 [②]
----------	----	-------------

平成29年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会
高松宮記念杯 第68回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

試合結果・戦評報告書

競技日	8月6日 (日)	会場	福島市西部体育館 (Eコート)		
種別	高校	性別	男子	回戦	2回戦
Aチーム名			Bチーム名		
函館大学付属有斗高等学校 北 海 道			県立岩国工業高等学校 山 口 県		
得点合計	小計	period	小計	得点合計	
14	6	前 半	11	28	
	8	後 半	17		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mT C			
戦 評			記載者氏名	吉田 寛	
<p>牽制とボールに対する速い対応で相手の攻撃の芽を摘む、岩国工業の鍛えられたディフェンス力が試合を決めた。</p> <p>前半の立ち上がりこそ函大付有斗にリードを許すも白石の速攻で追いつき、その後の4連続得点で突き放し試合の主導権を握る。後半も、1対1で相手選手へ厳しく対応して函大付有斗の攻撃リズムを崩し、攻撃でも村岡のミドルシュートを皮切りに藤川や牧野のロングシュートなど連続7得点で完全に引き離す展開。最後まで速い攻守の切り替えを続け勝利をものにした。</p> <p>函大付有斗は本来の攻撃のリズムが掴めなかったものの、キャプテン菊池が攻守ともに活躍し5得点、富原・荒木の2年生コンビでの7得点など、持ち味のオフェンスが随所に見られた。最後まであきらめずに相手ゴールに向かい、前年度優勝校に真っ向と対抗し善戦した。</p>					
送信日時	月	日 ()	:	送信者氏名	

